

グラフィック デザイン 3



graphic design

美術出版社刊

published by geibi-shuppan-sha, tokyo, japan

printed in japan

no. 3 1960

graphic design 3

世界デザイン会議のデザイン・ポリシー	2 原 弘
マックス・フーバー作品集	13 勝見 勝
マックス・ビルの『15のヴァリエーション』	33 向井 周太郎
ブルーノ・ムナーリ作品集／ムナーリのシルエット	37 滝口 修造
永田一脩 魚拓によるデザイン	49 亀倉 雄策
石仏拓本／森泉音三郎の作品	55 斎藤 寅郎
子供のデザイン	59
印刷デザイン実験室／3 8のEPジャケット	60 山城 隆一他
ジャズとデザイン	69 勝見 勝
ポートフォリオ 世界文献目録	82
書評	
表紙デザイン	原 弘

the World Design Conference and its design policy	2 HARA Hiromu
Max Huber	13 KATZUMIE Masaru
Max Bill's 'fifteen variations on a single theme'	33 MUKAI Syutaro
a silhouette of Bruno Munari	37 TAKIGUCHI Syuzo
gyotaku, or fish prints by NAGATA Isshu	49 KAMEKURA Yusaku
roadside stone statues silhouette—from stone surface to paper surface	55 SAITO Torao
children's corner of design	59
graphic design laboratory／3 8 E.P. jackets	60 YAMASHIRO Ryuichi and others
jazzzzzz...·	69 KATZUMIE Masaru
designer's portfolio	82
book review	
cover design	HARA Hiromu

A quarterly review for graphic design and art direction.
Editor in chief: KATZUMIE Masaru. Art director
HARA Hiromu. Executive editor: KATUBE Atuko.
Publisher: Geibi Publishing Co., Ltd., Hobundo bldg.,
15-2 Kandasarugaku-cho, Chiyoda-ku, Tokyo.
Distributor for the U.S.A.: Witterborn and Company,
1018 Madison Avenue, New York 21, N.Y.
Rates: \$ 3.50 per copy, \$ 12.00 for 1 year.

ブルーノ・ムナーリ作品集

ムナーリのシルエット

滝口 修造

一昨年、ミラノのブルーノ・ムナーリの家を訪ねたとき、いつか東京でかれを迎えることになろうとは夢にも思わなかつた。世界デザイン会議には、いろんなデザイン界の珍客が東京に集つたが、ムナーリなどは珍客中の珍客だったということができよう。

私は、昨年の暮れに〈ダイレクト・プロジェクト〉のスライドを送ってもらい、國立近代美術館で映写することになったが、さまざまな興味深い反応が示された。もちろんそれは場物入りのショウではなかったので、静かな反応といってよいだろう。無色透明なスライドから、ボラロイド（人造偏光板）によって、突然スクリーンに現われる色彩、そしてボラロイド・フィルターの回転によって、微妙に変化する色彩——は、決してムナーリ自身の発明ではなかろう。しかし、それを一種のプロジェクトの芸術に、ふしぎな映像の魔術に結晶させたのは、紛れもなくムナーリの発明である。

色彩の変化する絵画、純粹に光学的な色彩による天使の絵画。

このプロジェクトを見ていると、何ものにもとも知れない、子供のような好奇心を刺激されるだろう。そしてそれと気づかずに、もうひとつ絵画の領域に踏みこんでいる自分を見いだすだろう。

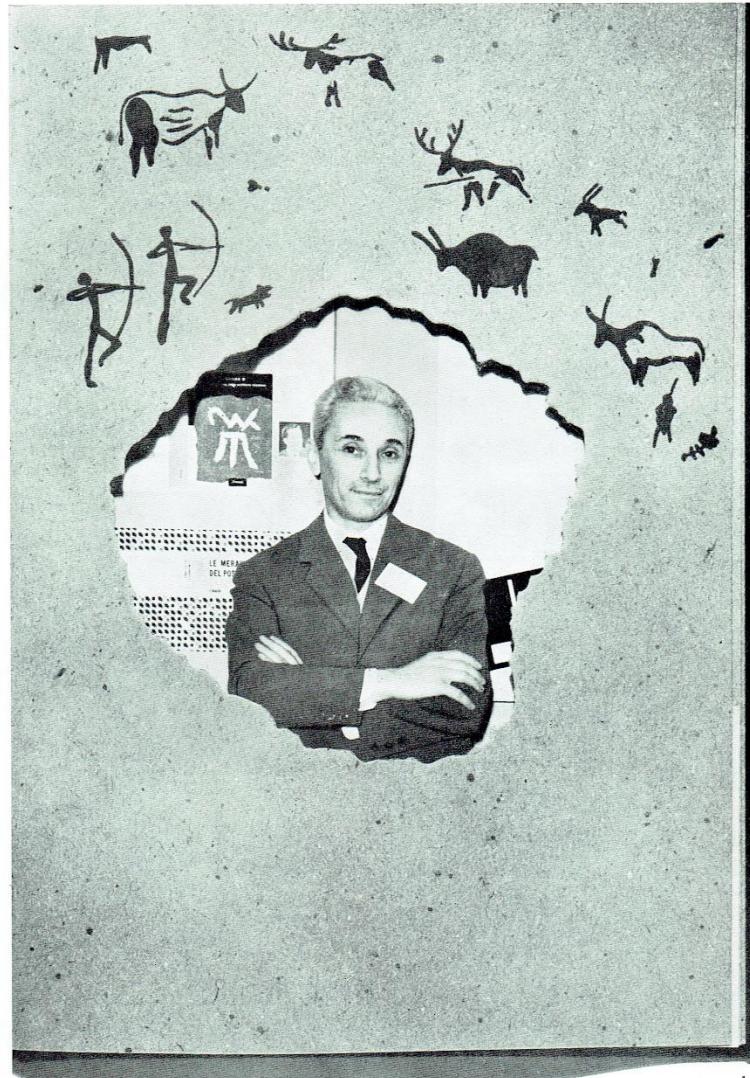
またある人たちはこの方法を、何かしらコマーシャルに、またはステージの照明効果に応用されないものかと考えはじめた。これはきわめて自然で有益な着想であろう。しかしムナーリ自身は、それをまず無償の玩具のようなものとして映写してよろこんでいる。世界デザイン会議の〈個別性〉の討論会では、部屋の壁に、このスライドをサイレントで映写するだけで退場したのは、いかにも象徴的であった。ムナーリは、たしかにスター、レコード・ジャケット、本のカバー、ダイレクト・メールなど多くのコマーシャル・デザインに、またいくつかのインダストリアル・デザインにも、すぐれた仕事をしている。かれはまた《機械》Le Macchine や《暗い夜に》nella notte buiaなどの絵本の作者として、まず世界的に知られている。

同時にムナーリには、数多くの私家版的な作品がある。たとえば、ムナーリの有名なクリスマス・カードなどは、その典型的なものであろう。もっとも今年の正月には、かれのいわゆる《読めない本》Libro illeggibile の第25冊目の本 (p. 41 14-19 参照) が送られてきたが、それもナンバーリングの限定版であった。こんど日本にきたとき、私の顔を見るなり〈あなたにお土産（カドー）をもってきた〉といつて出してくれたのが、アルミニューム製の組立オブジェ (p. 40 8-11-19 参照) であったが、この1960年の新作も、25 篇中の第2番というナンバー入りの〈限定版〉であったのは、意外であった。ムナーリはそのことを説明して、面白そうに笑うのである。こうしたときのムナーリは、実に楽しそうなのである。

ムナーリはまた、紙や錫金屬で折たたみ式の彫刻をつくっている。かれ自身はそれを旅行用彫刻などと呼んでいる。またかれは抽象画家でさえもあったのだ。

ムナーリは、こう見えてくると、それらすべてのカテゴリーにはいって、どのカテゴリーの専属でもない。デザイナーというと、いかにも型にはまつた仕事のカテゴリーがきめられて、そのなかで窮屈そうに仕事をしている人が多すぎる。ムナーリこそ、デザイン國の自由な市民なのではない

a silhouette of Bruno Munari by TAKIGUCHI Shuzo



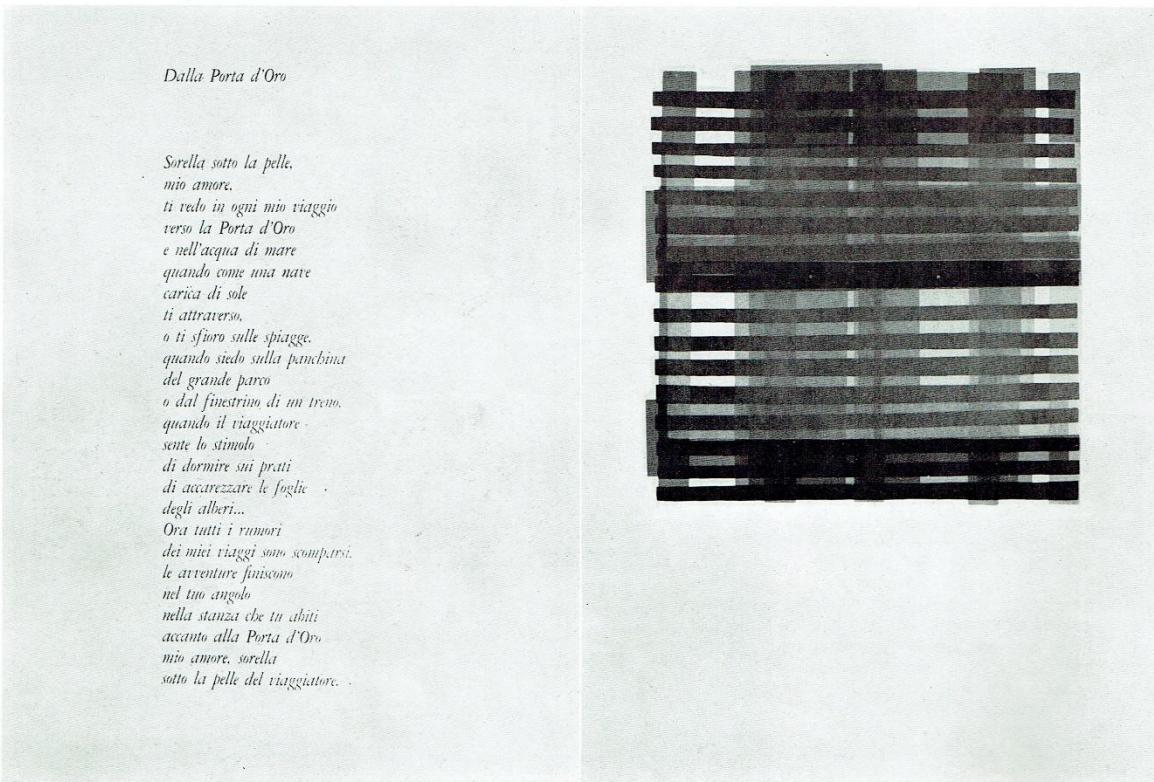
1

MUNARI

か。おことわりしておくが、ムナーリの〈私家版〉は、もし需用があれば、量産に切り換えられるような可能性をほらんだものが多いのである。ただ、かれは大衆をよろこぼす前に、家族や親しい友たちをよろこぼしたいのであろう。

美術手帖 1959年6月号、滝口修造『ムナーリ・ア・ジョイ・メーカー』参照

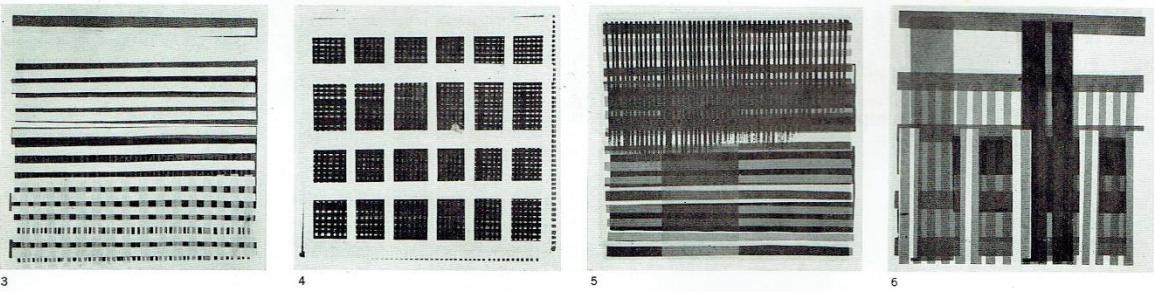
- 1 絵本《暗い夜に》の1頁からのぞくムナーリ
1 Munari in his picture book 'nella notte buia'



2

2 ジョルジ・ソワヴィの詩集のさし絵（見開き）
3-7 同さし絵

2 illustration, 'Los Alamos' full page
3-7 illustrations, 'Los Alamos'

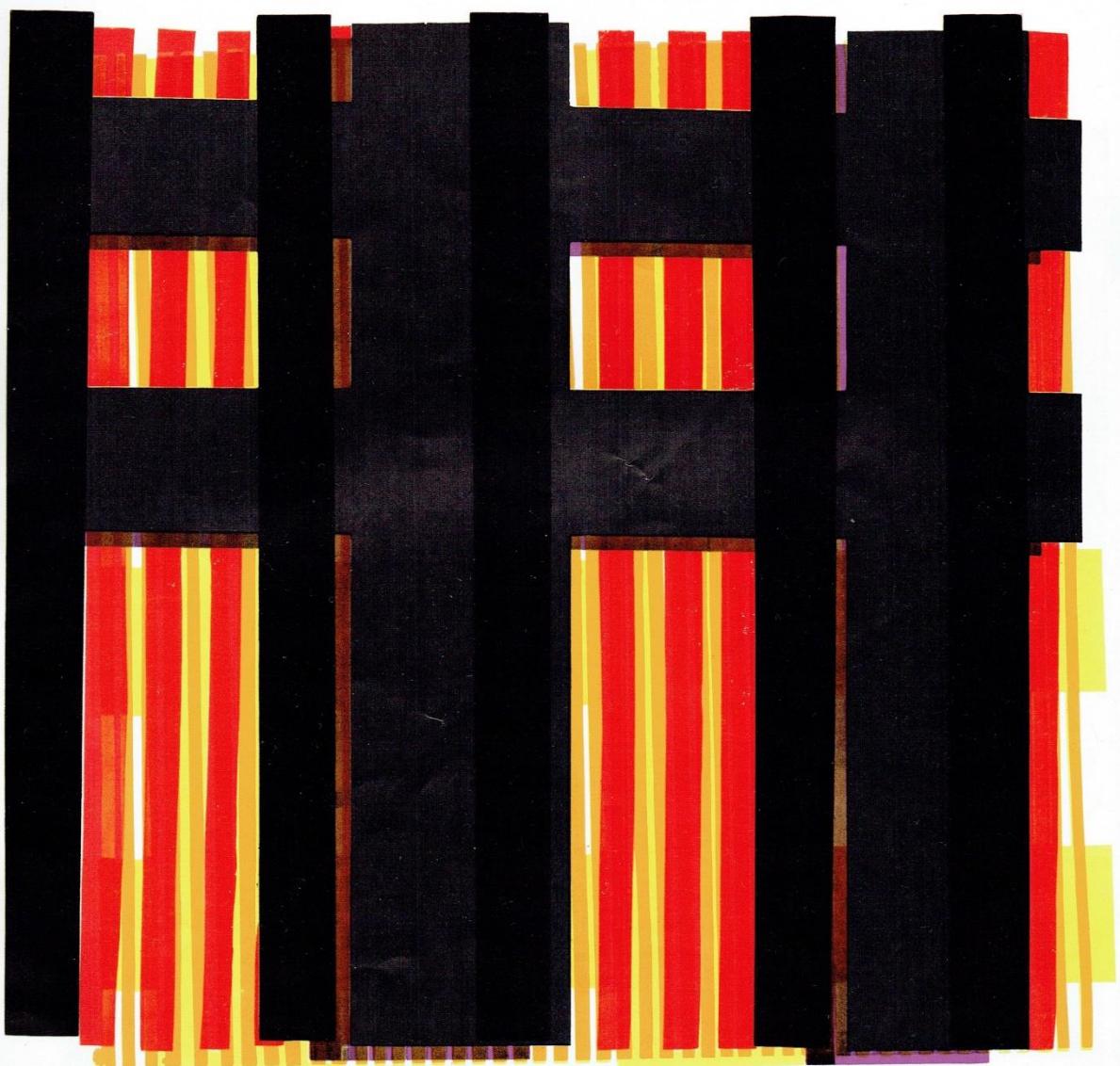


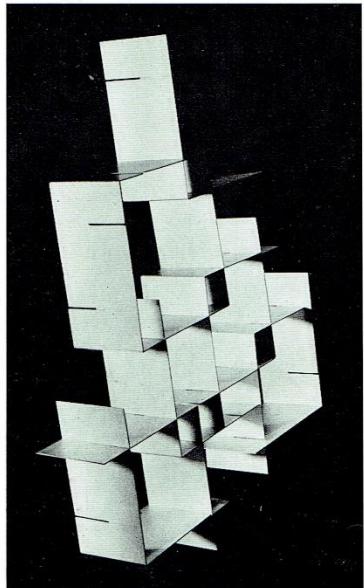
3

4

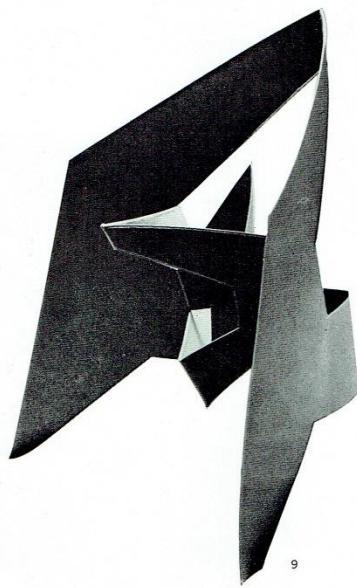
5

6

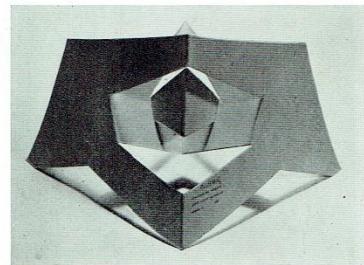




8

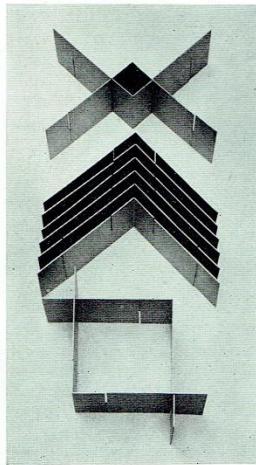


9

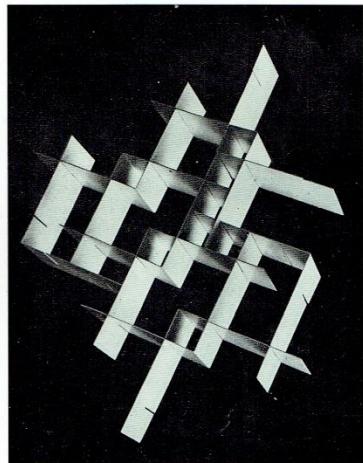


10

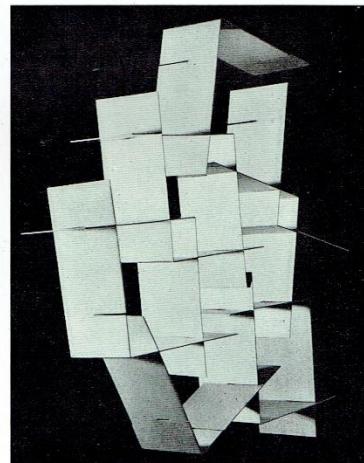
- 8・11-13 アルミニウムの組立てオブジェ
9・10 クリスマス・カードに用いた紙彫刻（折りたたみ自由） シリーズ 第25
14-19 読めない絵本 1960
20 個展招待状に用いた折りたたみ自由な紙彫刻
- 8・11-13 unite object
9・10 paper sculpture for Christmas-card
14-19 Libro illeggibile No. 25
20 paper sculpture used for an invitation card of one-man show



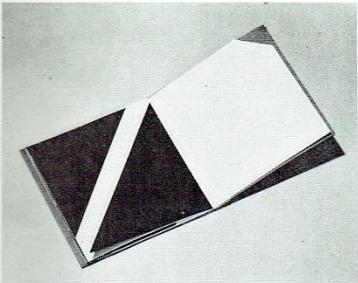
11



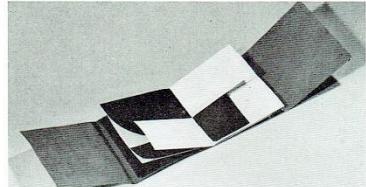
12



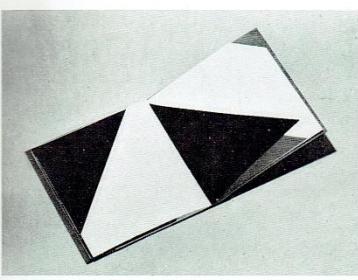
13



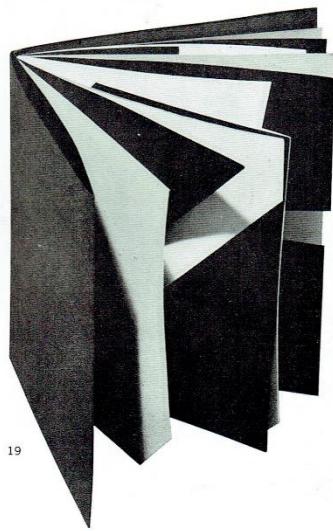
14



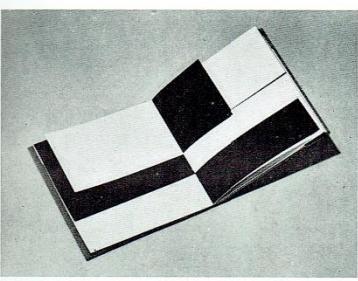
18



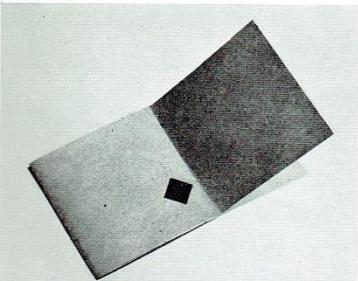
15



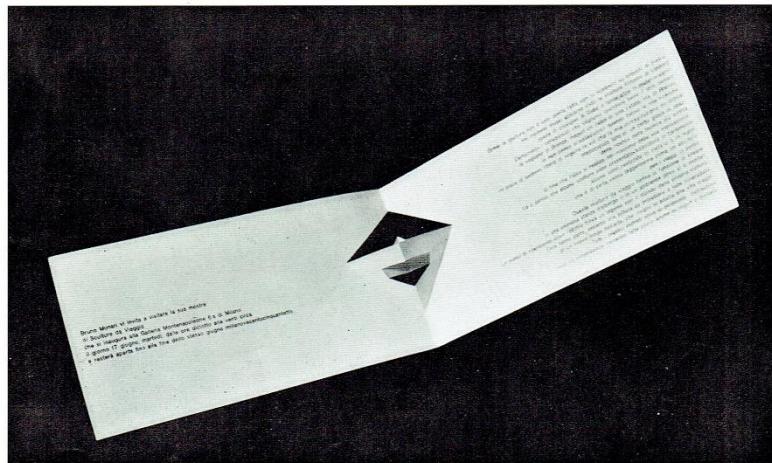
19



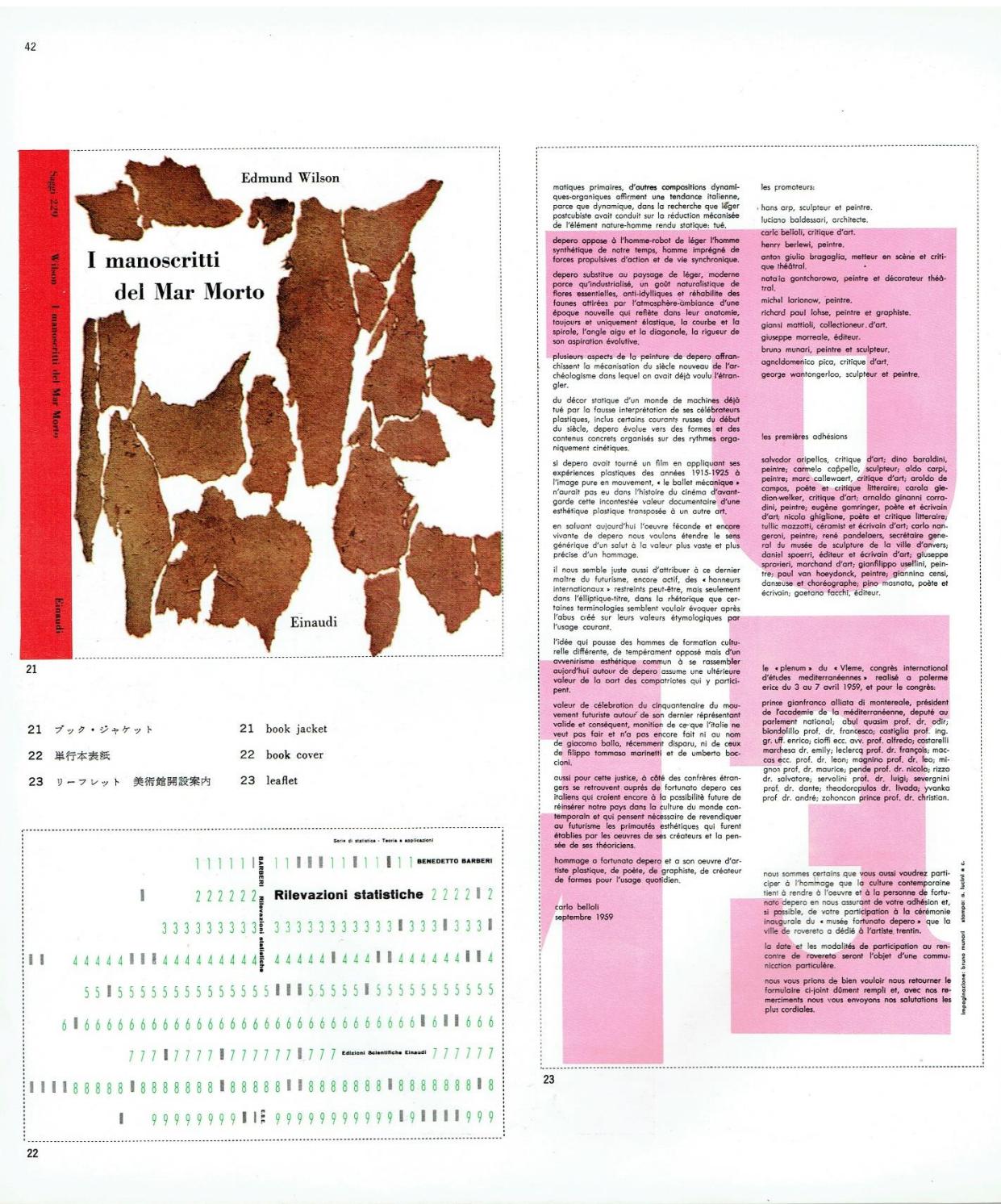
16

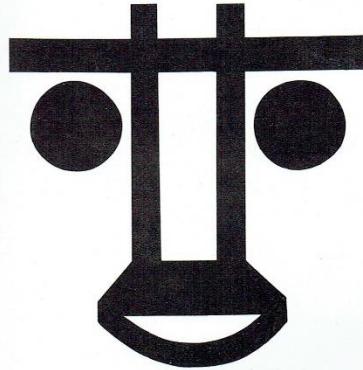


17



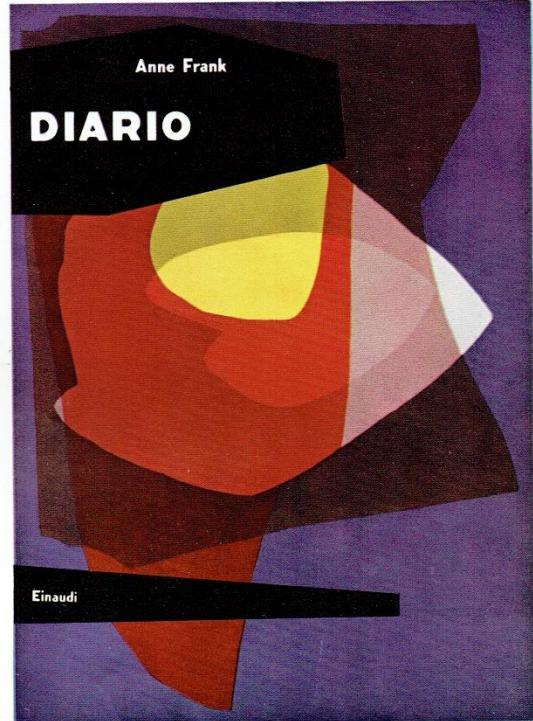
20



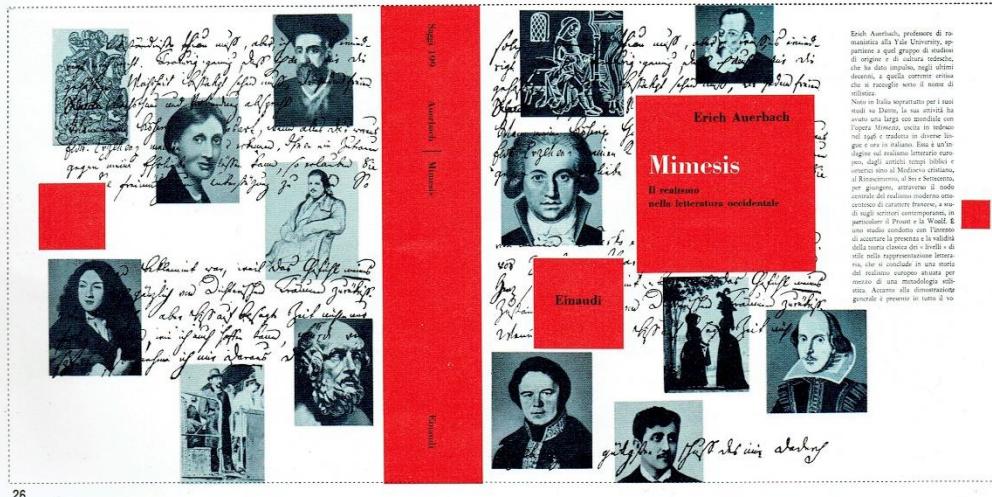


24

- 24 カット
25 単行本表紙
26 ブック・ジャケット
24 illustration
25 book cover
26 book jacket



25



26

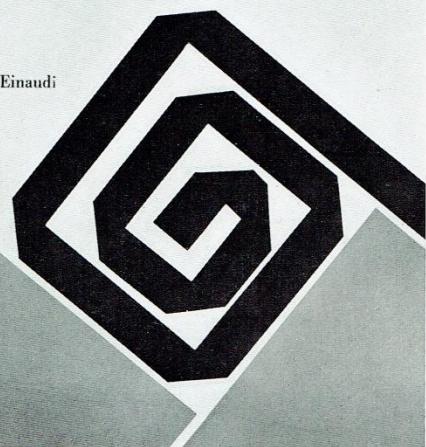
Erich Auerbach, profesor de romanística de Yale University, pertenece a quel grupo de estudios de la literatura europea clásica, que ha dado impulso, en los últimos decenios, a quella corriente renovadora de la crítica y de la teoría de la estética.

Nació en 1891 y falleció en 1967. Su libro separado por los estudios de Dante, la suscrita ha escrito una larga eco inédita con el título de "Dante und die Welt", publicada en 1950 y traducida en diverse lenguas. En su libro "Mimesis" se ocupó del realismo literario europeo, degli antichi tempi biblici e romanesco, de Virgilio, Cicerone, al Renacimiento, al Siglo de Setenta, por ejemplo, atrajo su modo singular de realismo moderno setecentesco de carácter francés, a su vez engendró el realismo europeo, en particular el Proust y la Welt. Es una obra magna con un análisis de sentencia la presente, la valididad de la teoría clásica de «livelli» o «niveles» de la literatura, de la cultura europea, que se concluye en una teoría del realismo europeo situada por encima de la teoría del realismo americano. Acceso alla dimostrazione generale è presente in tutto di vo-

Gillo Dorfles

Il divenire delle arti

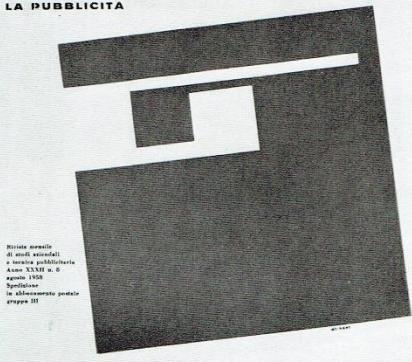
Einaudi



27

- 27 単行本表紙
28 雑誌表紙 1958
29・30 ブック・ジャケット

- 27 book cover
28 magazine cover
29・30 book jackets

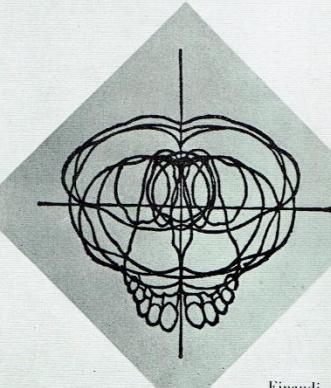
L'UFFICIO MODERNO
LA PUBBLICITA

28

Ernesto N. Rogers

Esperienza dell'architettura

Einaudi



29



30

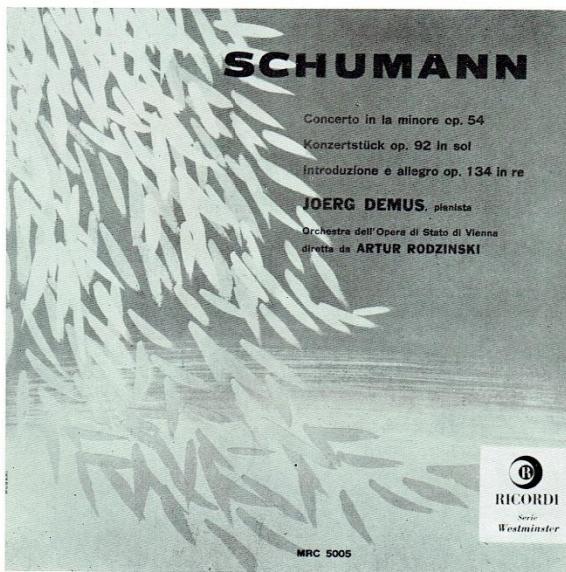


31

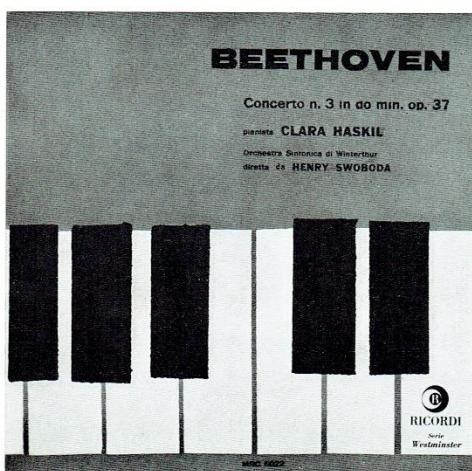


32

31 - 34 LP レコード・ジャケット L.P. record jackets



33

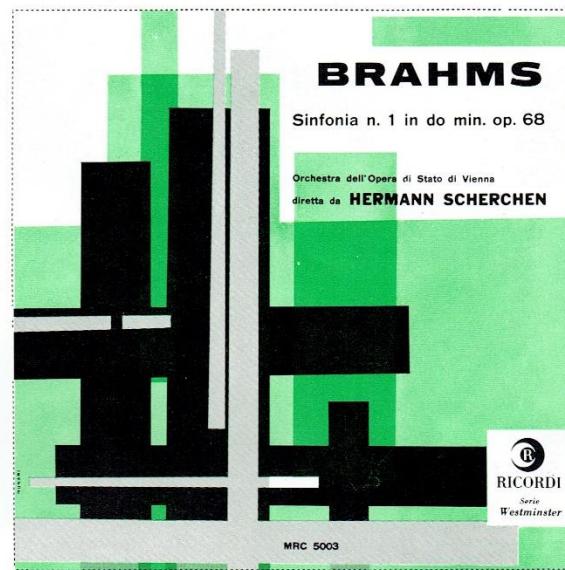


34





36



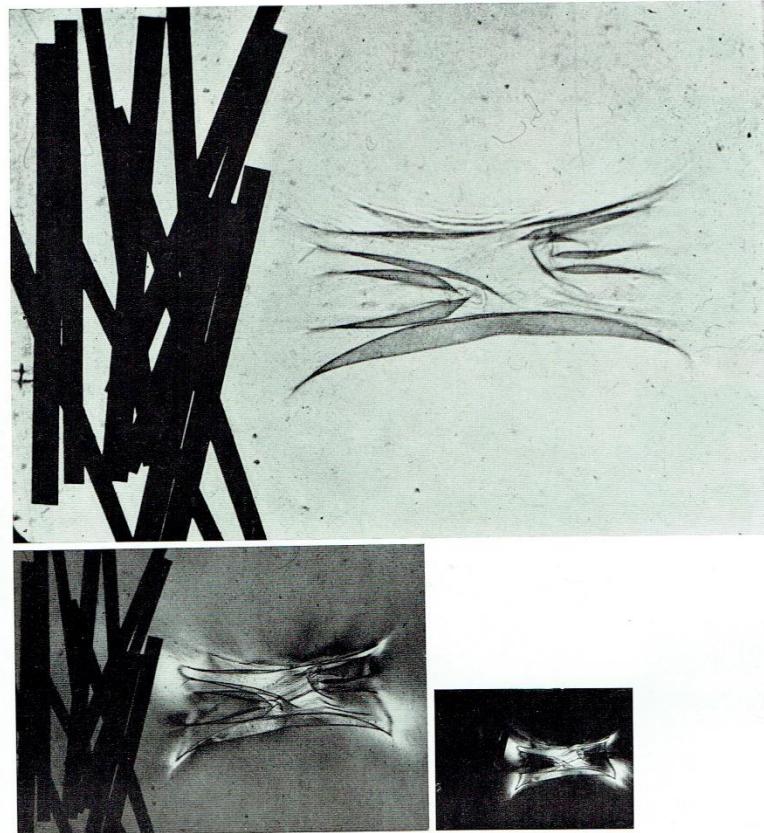
37



38



39



40

40 ダイレクト・プロジェクト
41 『世界グラフィック・デザイン展』での B. ムナーリ
(左) M. フーバー(右)

40 direct projections
41 B. Munari (left) and M. Huber (right) in 'World Graphic Design Exhibition'

ダイレクト・プロジェクトにつけられた詩

色彩がたえず変化するというだけでも
私たちは自然を愛します。
秋はうつくしい黄や茶色の木を
春はピンクと緑につつまれた木を
また青い冬空の黒い裸の木を
心たのしく眺めるでしょう。

白、黄、ピンク、オレンジ、灰色、バイオレット
と刻々に雲の色が変るときの
夕日に私たちはうっとり見とれます。
千の反射であつという間に色彩の変る
緑の海を私たちは讀えます。

そしてそれを暖める太陽を
やがてそれをぼかしたり、ついには消してしまう霧を
私たちは讀えます。

動かない自然というものは
それがどんなに美しくとも
もし色彩が永遠にきまっていたとしたら
なんと堪えられないものでしょう。

今日の芸術家は
作品の形と色をたえず変化させる手段をもっています。
人間生活のなかの瞬間
それがどんな重要なものであっても
固定してしまわないで
私たちの生活のなかで
私たちの感受性と一緒に動くもの。

絵や彫刻に固定された瞬間
それはईい果されたものです。
私たちの感受性を強制するばかり
磨きをかければかけるほどつまらなくなるでしょう。
ムナーリ 滝口修造訳



41